

W I L C O M M

ページ（不要データ削除）設定

OTH006 (Last Update : 2002/5/23)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



本解説書は、ウィルコム内部に管理されている過去の送信記録等のデータを自動的に削除するための設定方法について解説しています。AS/400 及び PC Server のディスク・スペースを有効利用するために、各ディスク要領とウィルコムの使用頻度の勘案から設定値を決める必要があります。

目 次

1. AS/400 パージ処理のタイミング	3 頁
2. AS/400 パージ設定	4 頁
3. AS/400 保管スプールのパージ設定	13 頁
4. AS/400 送信済み添付ファイルの削除	17 頁
5. AS/400 パージ処理報告書の出力先変更	20 頁
6. PC Server パージ処理のタイミング	24 頁
7. PC Server パージ設定	25 頁
8. PC Server ログファイルのサイズ変更	27 頁

1. AS/400 パージ処理のタイミング

(1) ウィルコム の起動時

ウィルコムを「アプリケーション・コントロール・メニュー」から起動、或いは AS/400 のスタートアップ・プログラム内で、プログラム = **WP014CQSTR** を起動した際に、設定値に従って自動的にパージ処理が実行されます。起動方法については、マニュアル「ウィルコムの起動と停止 (AS0004)」を参照してください。

(2) 午前 0 時

ウィルコムが午前 0 時の時点で起動している場合、設定値に従って自動的にパージ処理が実行されます。

ウィルコムを連続運転させた場合のパージ処理は、このように午前 0 時に実行されます。午前 0 時に起動するパージ処理の時間変更については、マニュアル「ウィルコムの起動と停止 (AS0004)」を参照してください。

パージ処理の実行結果は報告書としてスプール (WPLEXPR) が出力されます。



2. AS/400 パージ設定

AS/400 のウィルコムは、送信記録及びスプール・データを全てデータベースで管理しています。特にスプール・データをデータベース化している関係で、スプールの容量によっては、AS/400 のディスクスペースを圧迫する要因となります。

ウィルコムはスプールオーナー別に過去の記録を管理しており、そのオーナー単位にパージ処理をする実行することで過去の不要データを削除します。

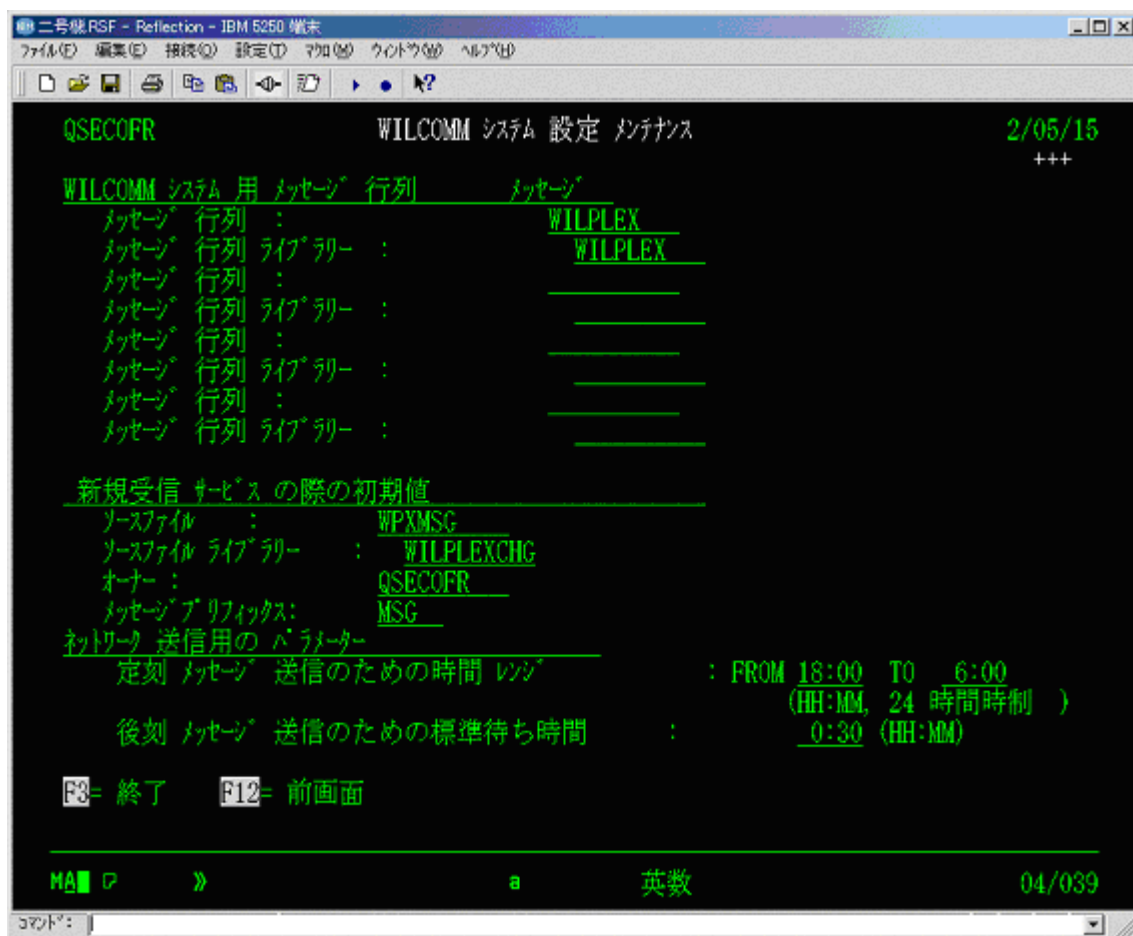


オプション = 60「アプリケーション・コントロール・メニュー」を実行します。

注意:これから行う設定は、AS/400 のウィルコムを停止している状態で行ってください。



オプション - 13「システム設定メンテナンス」を実行します。



「WILCOMM システム設定メンテナンス」の第1画面が表示されますので、そのまま実行キーを押します。



「WILCOMM システム設定メンテナンス」の第2画面が表示されますので、そのまま実行キーを押します。

表示されている値はお客様の環境により異なります。



「WILCOMM システム設定メンテナンス」の第3画面が表示されますので、そのまま実行キーを押します。

この画面からパージ処理の設定を行います。

ここに表示されているユーザー・プロファイルは、パージ処理の設定がされているユーザーです。

例として、ここから読み取れる情報について解説します。

ユーザー：HAMA が作成したスプールの配信結果は、保存期間が 7 日となります。ユーザー：HAMA の送信記録は、ウィルコムのパージ処理が起動する時点で、7 日より前のものは削除されることとなります。

つまり、ユーザー：HAMA の配信記録は、メッセージリスト上で 7 日分しか表示されないようになります。

受信は、ウィルメールの受信機能をお使いの場合にのみ有効です。この場合ユーザー：HAMA が受信した受信メールの記録は、メッセージリスト上で 1 日分しか表示されないことを意味しています。



新規登録をする場合、オプション = 1 を入力し、ユーザー・プロフィールを指定して実行キーを押します。

ここで登録できるユーザー・プロフィールは、「アプリケーション・コントロール・メニュー」内のオプション = 12「ユーザー・プロフィール・メンテナンス」で登録済ユーザーであることが前提です。

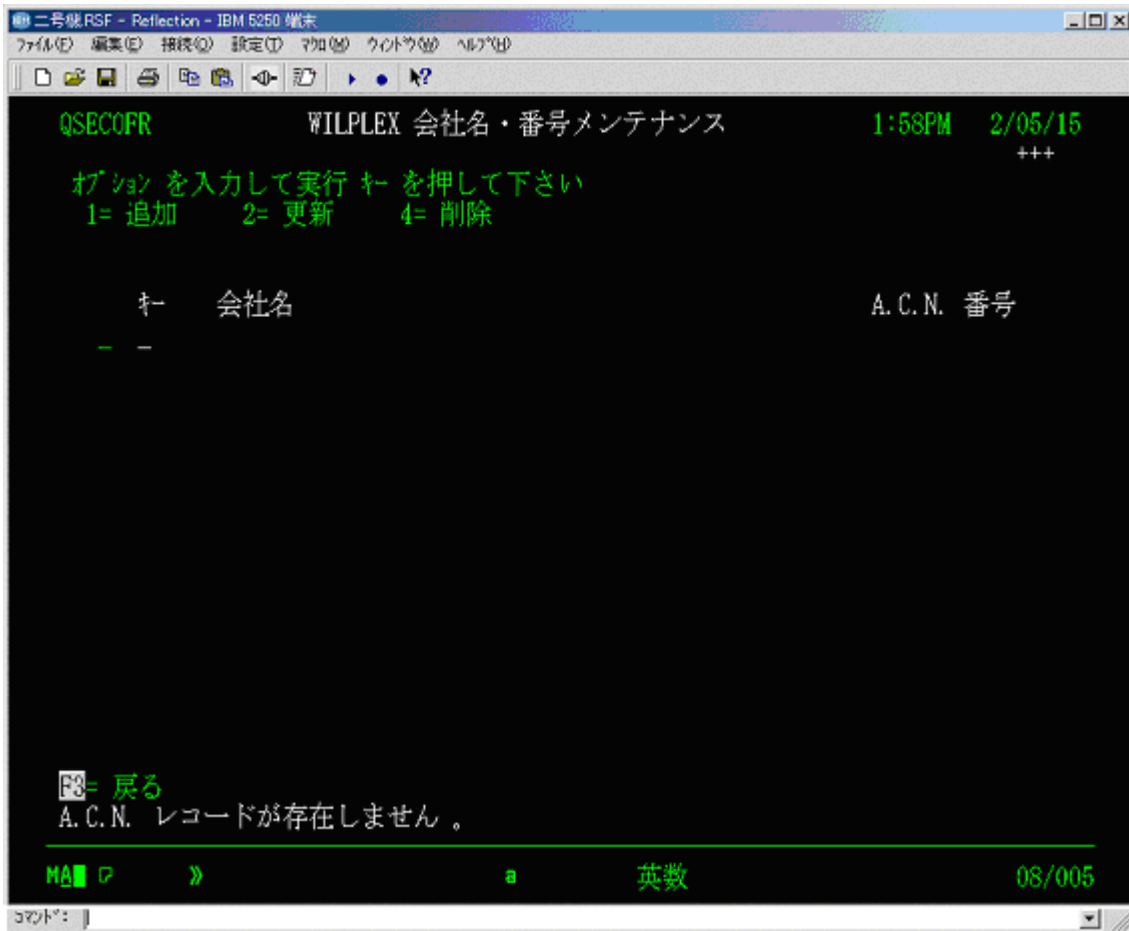


ユーザー・プロフィールに適用する保管日数を入力して、実行キーを押します。



登録されたことが確認できます。

確認したら実行キーを押してください。



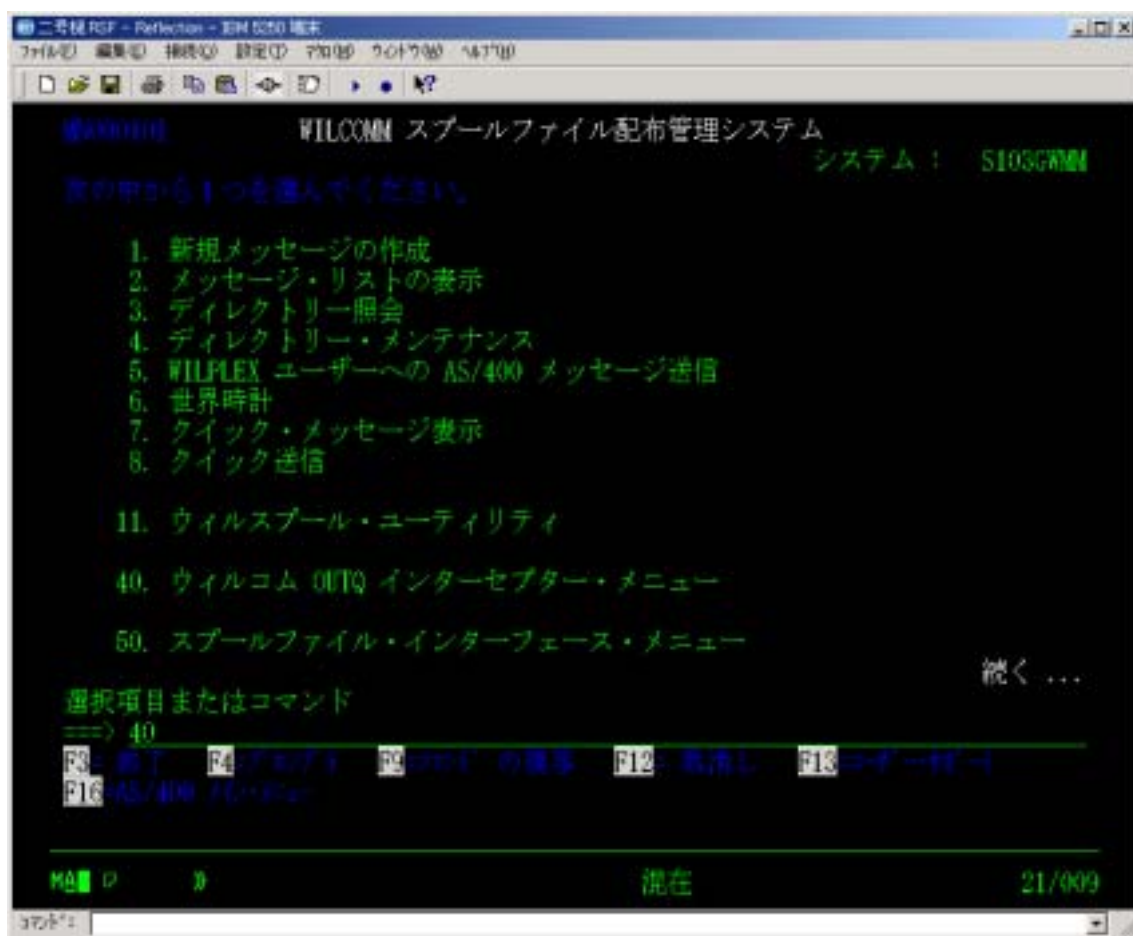
「WILCOMM システム設定メンテナンス」の第4画面が表示されますので、そのまま実行キーを押します。

「アプリケーション・コントロール・メニュー」に戻りますので、AS/400 のウィルコムを起動してください。

3. AS/400 保管スプールのページ設定

2 ではウィルコムデータベース内のページ設定に関して説明しました。ウィルコムはデータベースにスプールを取り込んで管理していますが、それ以外に送信したスプールファイルをスプールファイルのまま、保管 OUTQ で管理しています。(ウィルコム監視対象 OUTQ の作成時に保管 OUTQ を作成している場合)

保管 OUTQ を作成していれば、ウィルコム監視対象 OUTQ の作成時に保管 OUTQ での保管日数を指定してるはずですが、この日数は、変更することが可能ですので、その方法について以下に説明します。



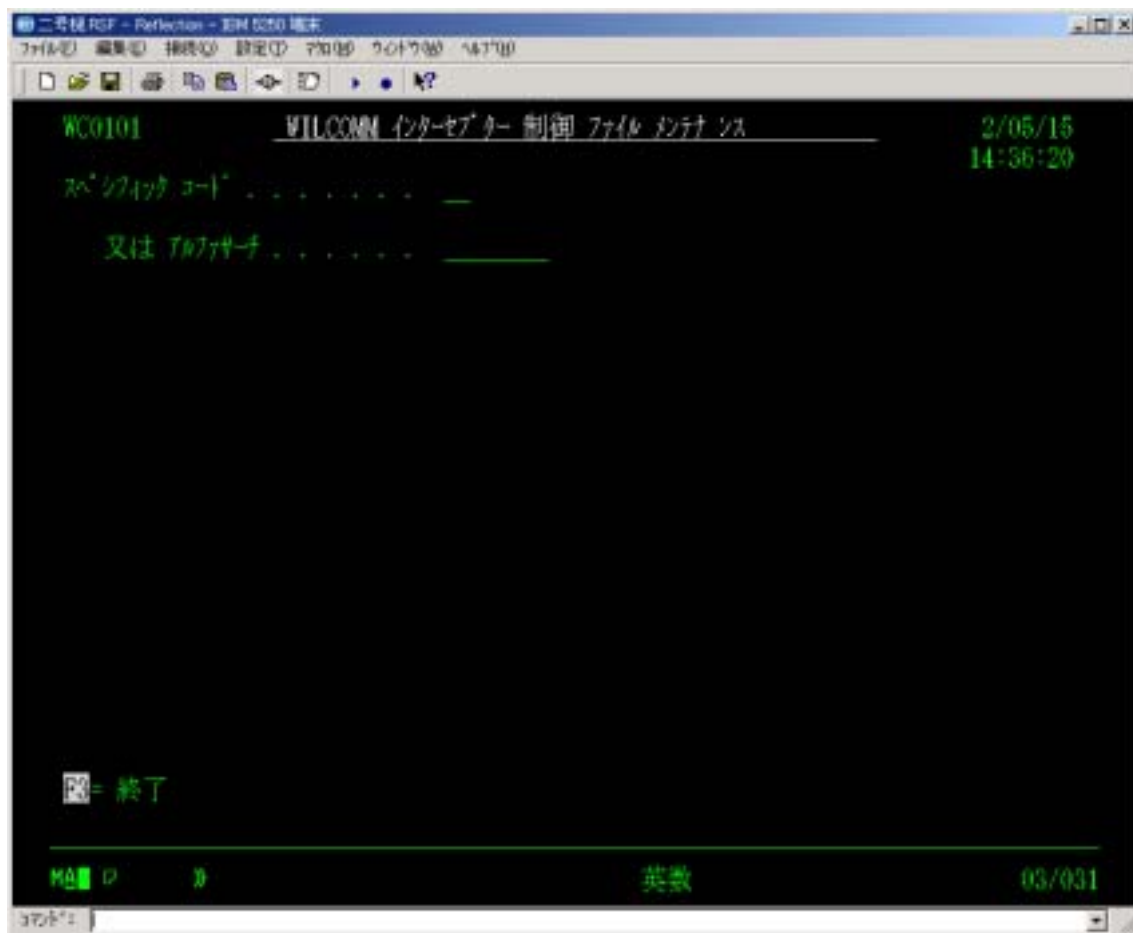
オプション = 40「ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー」を実行します。



オプション = 1「監視対象 OUTQ メンテナンス」を実行します。

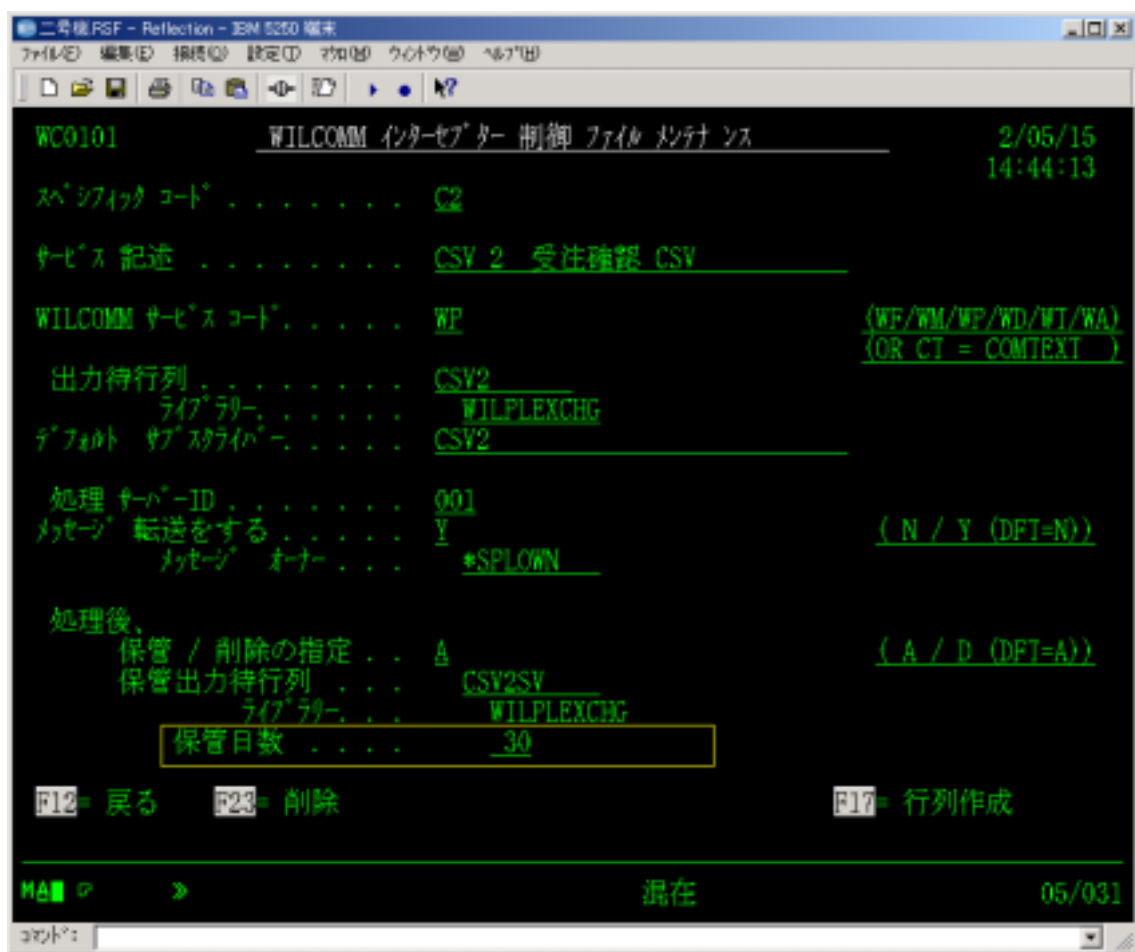
これは監視対象 OUTQ の作成を行った際と同様の画面から行います。

「監視対象 OUTQ メンテナンス」の操作に関する詳細は、マニュアル「アドレス設定ガイド」を参照してください。



スペシフィック・コードを指定します。

スペシフィック・コードがわからない場合は、ここで実行キーを押してスペシフィック・コードの一覧を表示して確認します。



「WILCOMM インターセプター制御ファイル・メンテナンス」画面が表示されます。

保管 OUTQ でのスプール保管日数を変更して、実行キーを押します。

設定は終了です。AS/400 のウィルコムを一旦停止後、再起動時のパージ処理から有効となります。

4. AS/400 送信済み添付ファイルの削除

ウィルコム の API 機能、ウィルスプール・ユーティリティ をご使用の場合、送信済みのファイルが共用フォルダ = /QDLS/SI/ATTACH に残ります。以下の要領で削除設定をしてください。



オプション = 60「アプリケーション・コントロール・メニュー」を実行します。



オプション = 27「送信済み添付ファイルの削除」を実行します。



日数の指定: 指定日数を超えた送信済みファイルは、「1. AS/400 パージ処理のタイミング」で自動的に削除されます。

処理選択: ここで実行キーを押した際の処理を選択します。

R = 削除対象ファイルの一覧がリストされます。

P = この時点で削除を実行します。(この時点で削除したくない場合は、Rを選択してください。)

5. AS/400 パージ処理報告書の出力先変更

パージ処理が実行されると、以下の二種類の報告書がスプールとして出力されます。

スプールファイル名 = WPLEXPRT ユーザーデータ値 = PT01

```
PAGE:      1          WILPLEX MESSAGE PURGE (VIA TABLES) - LOCAL      (DELETE MODE = Y)

4/16/02 12:00:01  USER: WILPLEX      JOB: WPPRGTAB

MESSAGE      STATUS      SUBJECT                                          TODAY      RCD-DATE  SAFE-DAT  RESULT  . . . . .

OWNER = KOIDE      ... (   30   30)
OWNER = KOIDE1      ... (   30   30)
OWNER = NISHIBE      ... (  999    7)
OWNER = QPGMR        ... (   30   30)
OWNER = QSECOFR      ... (    7    1)
OWNER = TAK          ... (   30   30)
.
```

スプールファイル名 = WPLEXPRT ユーザーデータ値 = WCPURGE1

```
PAGE:      1          WILCOMM インターセプター - OUTPUT QUEUE ARCHIVE PURGE - (RUN MODE =  PURGE ) 16/04/02 12:00:06  USER: WILPLEX

SRVCE  ARCHIVE QUEUE PURGED  PURGE ENTRY  PURGE  USER NAME  FORM TYPE  USER DATA
      LIBRARY / QUEUE      DAYS  COUNT  COUNT

BD  WILPLEXCHG/BODYSV      10              *ALL      *ALL      *ALL
C1  KOIDE      /CSVSV        7              *ALL      *ALL      *ALL
C2  WILPLEXCHG/CSV2SV      30              *ALL      *ALL      *ALL
DF  WILPLEXCHG/DEMOfAXSV    7              *ALL      *ALL      *ALL
DI  WILPLEXCHG/DROPINSSV    30              *ALL      *ALL      *ALL
DM  WILPLEXCHG/DEMOMAILSV    7              *ALL      *ALL      *ALL
HD  HAMALIB      /HAMASAV    999    9              *ALL      *ALL      *ALL
```

ページ処理にて出力される報告書は、確認用ですので印刷して保存しておく必要等はありません。

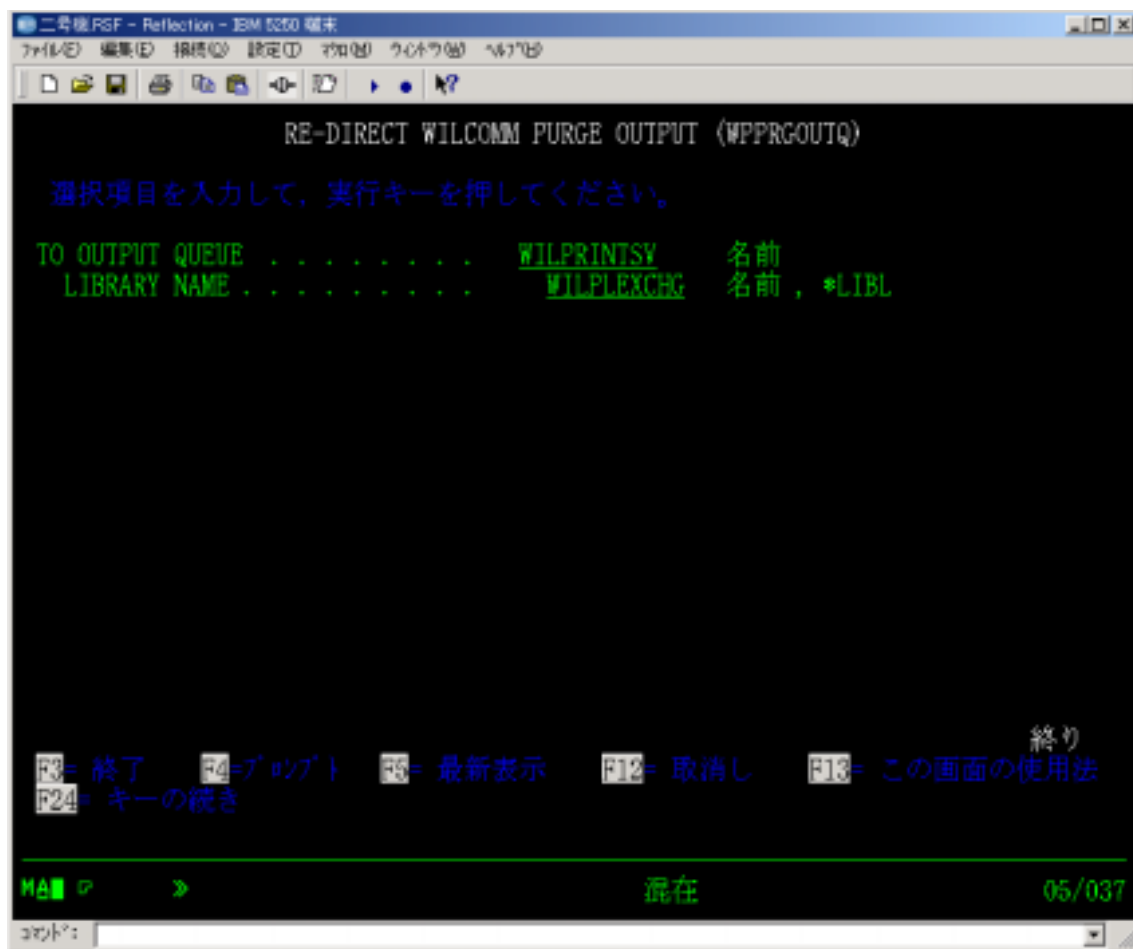
ただし、このスプールをページする機能がウィルコムにはありません。

この報告書スプールは、デフォルトでは OUTQ= にスプーリングされています。定期的に WRKOUTQ で確認していただき削除する必要があります。

自動的に削除したい場合は、以下の要領で報告書の出力先 OUTQ をウィルコムの保管 OUTQ に変更してください。3 で設定した日数でページ処理の際に削除されることになります。



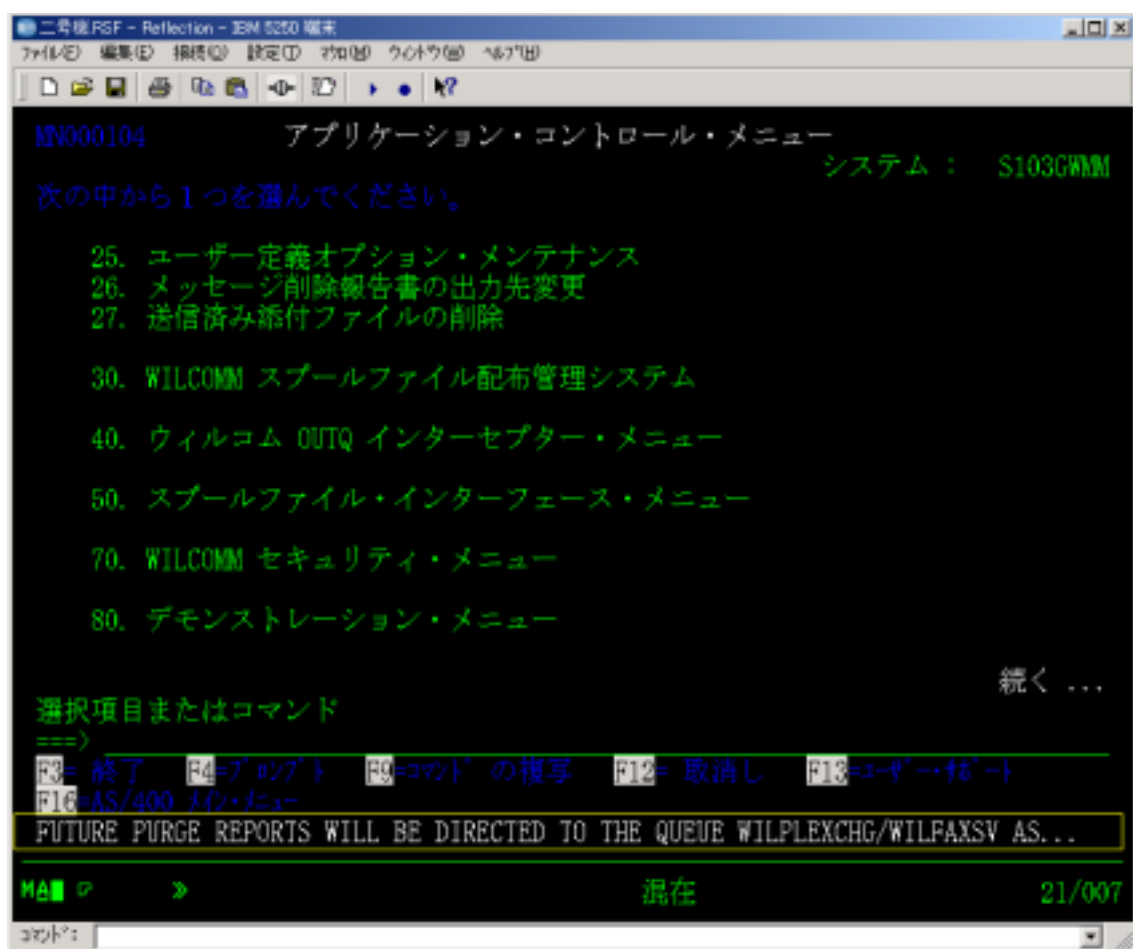
「アプリケーション・コントロール・メニュー」のオプション = 26「メッセージ削除報告書の出力先変更」を実行します。



デフォルト値として、WILPRINTSV が表示されますので OUTQ 名を指定してください。

(注) V7.15 より低いバージョンをお使いの場合、デフォルト値は QPRINT です。

ここに表示される OUTQ 名は、表示時点での設定値ではありません。設定変更後、再度「メッセージ削除報告書の出力先変更」を実行しますと、このデフォルト値が表示されます。



変更されたことを示すメッセージが 24 行目に表示されます。

設定は終了です。AS/400 のウィルコムを一旦停止後、再起動時のバージ処理から有効となります。

6. PC Server パージ処理のタイミング

(1) ウィルコム の起動時

ウィルコム・サーバー(Wilcomm Server) を起動した際に、設定値に従って自動的にパージ処理が実行されます。起動方法については、マニュアル「ウィルコム の起動と停止 (AS0004)」を参照してください。

(2) 設定値

ウィルコム・サーバーの起動後、設定日数及び時間が経過して、その時点でウィルコムが起動している場合、設定値に従って自動的にパージ処理が実行されます。



7. PC Server パージ設定

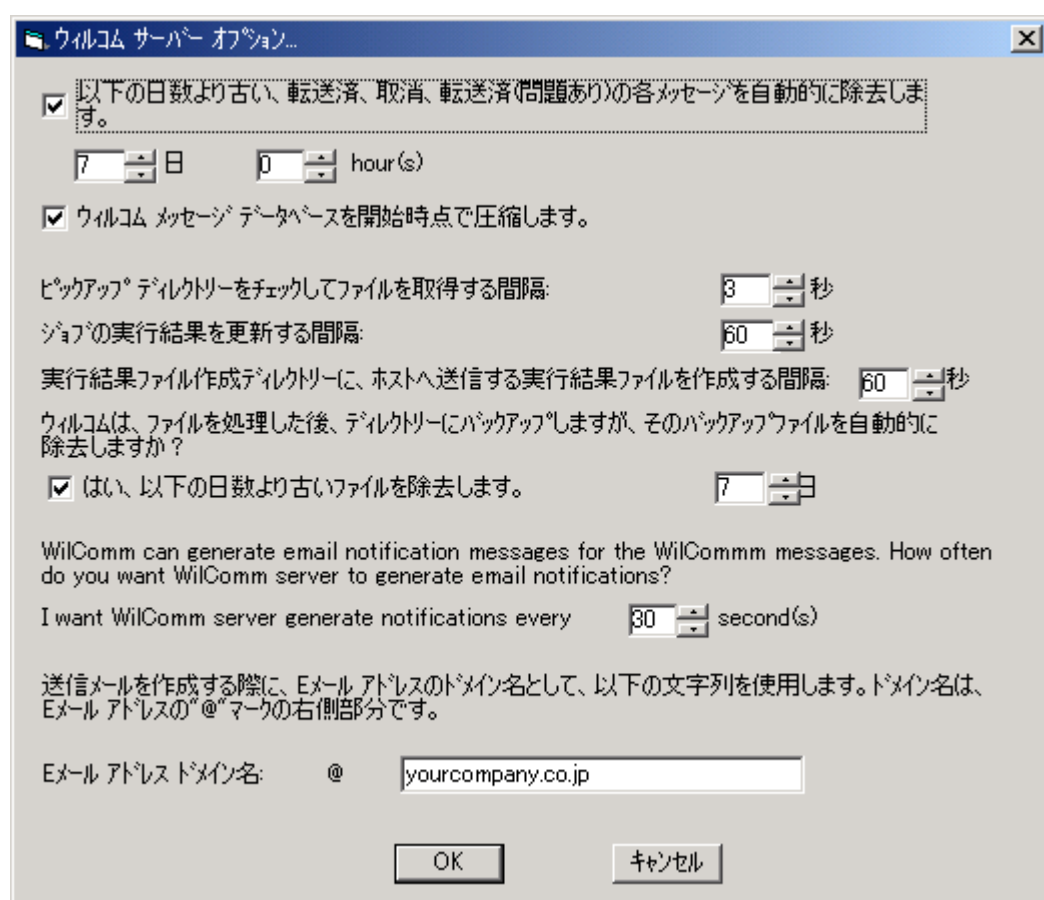
PC Server のウィルコムも、送信記録を全てデータベースで管理しています。(PC Server の「メッセージリスト」データ)

AS/400 から受け取ったスプール・ファイルは、1 スプール 1 テキスト・ファイルの形式で保管されます。

PC Server のディスク容量に影響を及ぼす上記不要データを以下の要領で削除するように設定します。



ウィルコム・サーバーのツールバー「ツール」→「オプション」を選択します。



オプション設定画面が表示されます。

ウィルコム サーバー オプション...

☒ 以下の日数より古い、転送済、取消、転送済問題ありの各メッセージを自動的に除去します。

7 日 0 hour(s)

☒ ウィルコム メッセージ データベースを開始時点で圧縮します。

ピックアップ ディレクトリーをチェックしてファイルを取得する間隔: 3 秒

ジョブの実行結果を更新する間隔: 60 秒

実行結果ファイル作成ディレクトリーに、ホストへ送信する実行結果ファイルを作成する間隔: 60 秒

ウィルコムは、ファイルを処理した後、ディレクトリーにバックアップしますが、そのバックアップファイルを自動的に除去しますか？

☒ はい、以下の日数より古いファイルを除去します。 7 日

WilComm can generate email notification messages for the WilComm messages. How often do you want WilComm server to generate email notifications?

I want WilComm server generate notifications every 30 second(s)

送信メールを作成する際に、Eメール アドレスのドメイン名として、以下の文字列を使用します。ドメイン名は、Eメール アドレスの@マークの右側部分です。

Eメール アドレスドメイン名: @ yourcompany.co.jp

OK キャンセル

赤枠部の設定 (メッセージリストの送信記録のデータ削除設定)

「日」或いは「hour(s)」のどちらか一方を設定します。

「日」を設定した場合、日付が変わる午前0時に指定日数より古いデータを削除します。
「hour(s)」を指定した場合、毎時間00分00秒に指定時間より古いデータを削除します。

青枠部の設定(テキスト・ファイル形式のスプール・ファイル・データ)

日付が変わる午前0時に指定日数より古いデータを削除します。

8. PC Server ログファイルのサイズ変更

PC Server で起動する各モジュールは、実行ログを書き出しています。このログ・ファイルは各モジュールの初期設定ファイルにある「Event Log File Size Limit」値によって最大ファイルサイズが決まっています。インストール直後は 5MB になっています。サイズの的にディスク容量を圧迫することはありませんが、変更する場合は以下の要領に従ってください。

(以下のパスは、ウィルコムがCドライブにインストールされている場合です)

WilComm Server (ウィルコム・サーバー)のログ・ファイル・サイズ設定

C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\Server\WilComm.ini

WilMail (ウィルメール)のログ・ファイル・サイズ設定

C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\Mail\WilMail.ini

WilFax (ウィルファックス)のログ・ファイル・サイズ設定

C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\FaxMM\WilFAXMM.ini

WilPrint (ウィルプリント)のログ・ファイル・サイズ設定

C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\Print\WilPrint.ini

WilFile (ウィルファイル)のログ・ファイル・サイズ設定

C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\File\WilFile.ini

上記 ini ファイルをノートパッド等のテキスト・エディタで開いてください。

以下の部分の値を変更してください。

[EventLog]

EventLogFileSizeLimit=5000 ← *

TempLog=N

設定値は、各モジュールは停止 / 再開後に有効となります。

(補足)

PC Server のディスク・スペースを圧迫する要因は、他に Windows のイベント・ログがあります。ウィルコム処理は、イベント・ログのアプリケーション・ログに記録されていきますので、使用頻度の勘案から、イベント・ログのサイズ調整、上書き設定等を行ってください。